

消化管内科を受診している患者さんへ

当科では、下記の臨床研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学病院倫理委員会において、ヘルシンキ宣言の趣旨に添い、人を対象とする医学系研究に関する倫理指針、ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針等を遵守し、医の倫理に基づいて実施されることが審査され認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開することが求められている研究です。もし、この研究に関するお問い合わせなどありましたら、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。

記

研究課題名	ステージⅡ/Ⅲ閉塞性遠位結腸癌に対する経肛門イレウス管とメタリックステントを比較する症例対照研究
研究機関名	愛知医科大学病院
研究機関の長	病院長 藤原 祥裕
担当科等	消化管内科
研究責任者	消化管内科 (職名) 准教授 (特任) (氏名) 海老正秀
試料・情報を利用する学外の研究機関名・研究責任者名	名古屋市立大学大学院医学研究科 消化器・代謝内科学 志村貴也
研究の意義・目的	閉塞性大腸癌に対する最適な減圧術を明らかにします。
対象となる患者さん	2010年1月1日から2019年12月31日までにステージⅡ/Ⅲ閉塞性遠位結腸癌（横行結腸～直腸S状結腸移行部までの癌）で外科的に腫瘍を切除し、ステント (SEMS) またはイレウス管 (TCT) で減圧術を受けた患者さん。
研究の方法	当院消化器内科にて閉塞性大腸癌に対し、減圧術を受けられた患者さんを調べます。手術後の組織を主研究機関である名古屋市立大学に提供し、研究に利用します。
研究期間	倫理審査承認日 ～ 2023年12月31日
研究に用いる試料・情報	試料：外科的切除した腫瘍の組織を利用します。 情報：病気のステージや、治療方法等を利用します。
外部への試料・情報の提供	研究の主施設である名古屋市立大学に腫瘍の組織の一部や診療情報を提供します。
試料・情報の利用又は提供を希望しない場合	本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は2022年12月31日までに下記お問い合わせ先まで申し出てください。
個人情報の取り扱い	利用する情報や、組織から、お名前、住所など個人を特定できる個人情報は削除して利用します。また、研究結果は学会や論文などで発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。 診療情報や組織などの本研究への利用を拒否される方は、下記問い

	<p>合わせ先まで申し出てください。</p> <p>個人情報の開示を希望する場合の手続方法、保有する個人情報の利用目的の開示を求められた場合の手続方法及び保有する個人情報の開示に係る手続方法について、必要であれば下記までご連絡ください。</p>
問い合わせ先	<p>愛知医科大学病院 消化管内科 担当者：(職名) 准教授 (特任) (氏名) 海老正秀 電話 0561-62-3311 (内線 23480)</p>